

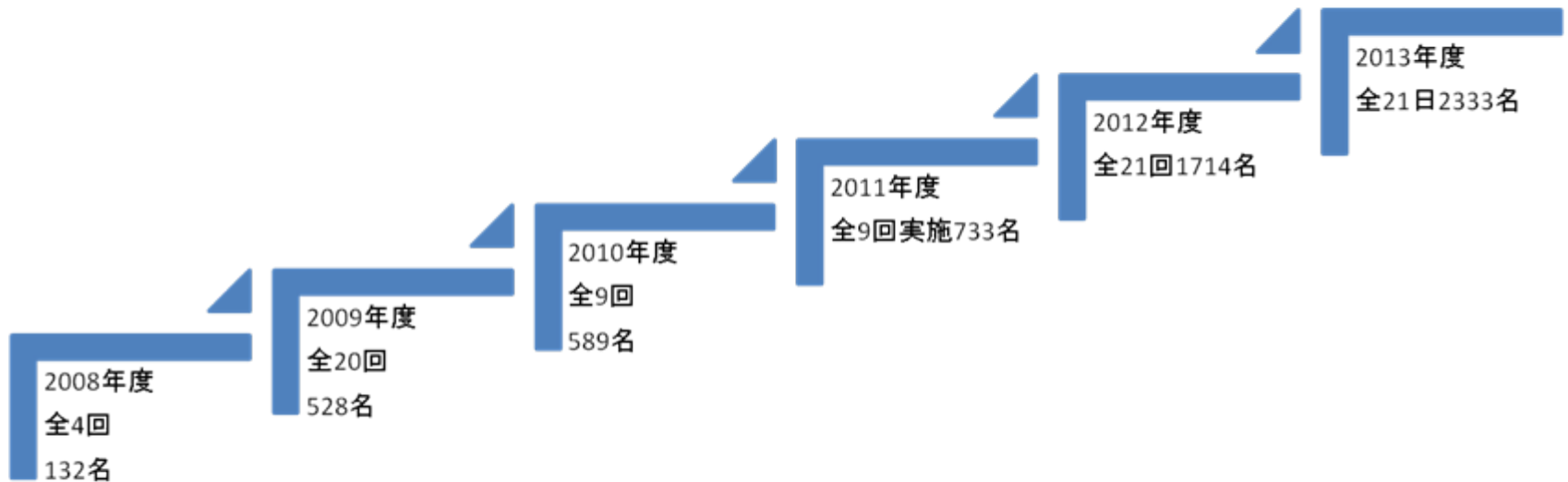
参加体験型環境教育プログラム  
「葛西臨海たんけん隊」  
2013年度活動報告書

2013年度：2013年3月1日～2014年2月28日

2014年4月

一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム 事務局作成

# 各年度の参加数



6年間の総計は6,029名となっております。

## 2013年度実施概要一覧

プログラム	実施日	参加	申込形態	実施場所
環境フェア出展	6月1日	56名	事前	江戸川区総合文化センター
「五感でめぐる熱帯植物館ワークショップ」	6月22日	32名	事前	夢の島熱帯植物館
「五感でめぐる熱帯植物館ワークショップ」	6月23日	31名	事前	夢の島熱帯植物館
そなえエリアとの連携による防災プログラム	7月6日	31名	事前	有明防災公園＋葛西臨海公園
学校教育に対する海洋教育の提供	7月11日	111名	団体	葛西臨海公園
	12日	58名	団体	葛西臨海公園
	18日	106名	団体	葛西臨海公園
「秋の公園フェスティバル」への出展	10月5・6日	1151名	当日	葛西臨海公園・海浜公園
江戸川総合人生大学	11月6日	33名	団体	葛西臨海公園・海浜公園
学校教育と連携した海洋教育(石丸隆講演)	11月9日	110名	団体・当日	小松川区民館ホール
キッズライドバイク2013	11月16日	100名	事前	江戸川区立清新第二中学校
学校教育と連携した海洋教育 (南葛西中学校出張授業)	11月25日 ・26日	152名	団体	江戸川区立南葛西中学校
そなえエリアとの連携による防災プログラム	11月23日	27名	事前	有明防災公園＋葛西臨海公園
学校教育と連携した海洋教育 (平塚市立大原学校出張授業)	12月4日	53名	団体	平塚市立大原小学校
感じる公園ワークショップ	12月21日	25名	事前	葛西臨海水族園
キッズライドバイク2013	12月22日	100名	事前	江戸川陸上競技場
「ESDラーニングプログラム」への出展	1月13日	47名	当日	愛知県産業労働センター
感じる公園ワークショップ「さわってたのしむ水族園」	2月1日	80名	当日	葛西臨海水族園
感じる公園ワークショップ「豊かな自然を楽しもう」	2月2日	30名	当日	山のふるさと村(奥多摩)

全21日実施で2,333名にご体験いただきました。

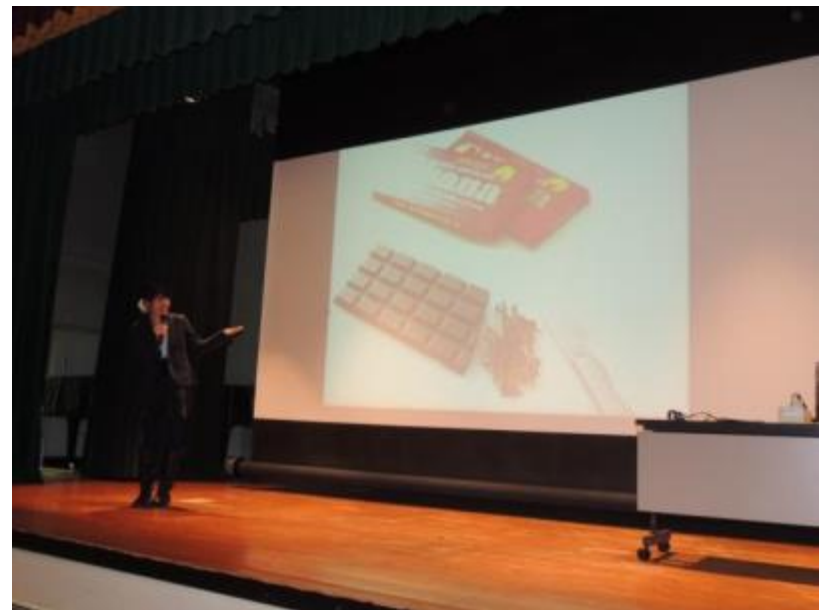
# 2013年度事業の特徴

## 株式会社ロッテによる特別協賛の継続

株式会社ロッテからは2008年のテストプログラムの開始以来、特別協賛をご継続いただいております。プロジェクト開始以来ロッテ製品の提供をはじめ、チラシや印刷物、ホームページにその旨を掲出をしておりましたが、今年度からはその点をより訴求する目的でロッテを紹介するためのフリップを作成しました。企業活動や商品を直截に訴求するのではなく、カカオの生態等をクイズ形式で問いかける方法での展開となりました。



フリップによるカカオとチョコレートのお話  
@秋の公園フェスティバル



フリップをプロジェクタに投影して解説  
@科学教育センター講義

# 2013年度事業の特徴

## 助成金活用の拡大

獲得した助成金は昨年度の約250万円から今年度は約600万円にまで拡大しました。  
今後も様々なコンテンツについて、その企画主旨と合致する助成制度を積極的に活用していきます。

プログラム名	助成元	金額(年度内未収含)
感じる公園ワークショップ	地球環境基金 (環境再生保全機構)	約310万円 (うち未収10万円)
防災公園連携プログラム	セブンイレブン記念財団	約94万円(確定)
学校教育への海洋教育の提供	日本財団	96万円(確定)
キッズライドバイク	子どもゆめ基金 (国立青少年教育振興機構)	約80万円 (未収10万円)
	えどがわエコセンター	約11万円(確定)
秋の公園フェスティバル	えどがわエコセンター	約8万5千円(確定)

2013年度助成金総額約600万円

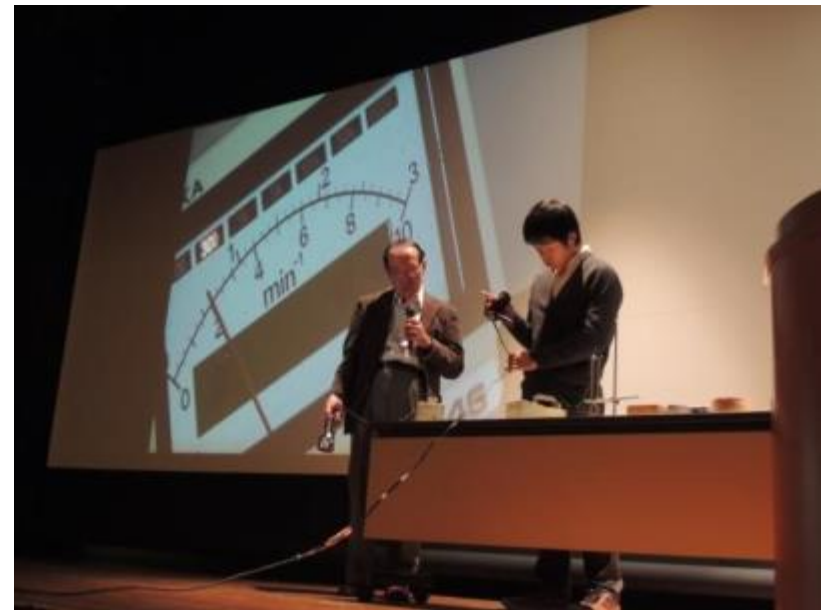
## 2013年度事業の特徴

### 東京海洋大学との連携による学校への講義提供の本格化

江戸川区立南葛西第三小学校へのプログラム提供や連携については、試験プログラムの段階からのお付き合いが続いておりましたが、今年度からは日本財団の助成をいただき「学校教育に対する海洋教育の提供」プロジェクトが立ち上がりました。その結果、小学校5校（江戸川区4校、平塚市1校）、中学校1校、教育委員会主催プロジェクト（「江戸川区科学教育センター」）へのプログラム提供が実現しました。



南葛西第三小学校への授業風景@葛西臨海公園



「科学教育センター」での講義@小松川区民館  
※写真はサーベイメーターによる空間線量測定の風景



# 2013年度事業の特徴

## キッズライドバイクの地域への定着

2011年度から開始し、今回で3回目となるキッズライドバイクは毎回定員を大きく上回るお申し込みをいただき、地域に定着したイベントになりつつあります。えどがわエコセンターにも共催をいただき、また、青少年委員、PTA関係者、学校教育関係者の多大なるご支援の賜物です。



左:実施後の記念撮影



(右)スキル・マナーアップコース実施風景

# 2013年度事業の特徴

## 「感じる公園ワークショップ」プロジェクトの拡大

視覚障害者と晴眼者がともに障がいの有無を問わずに参加して楽しめるプログラムを開発することを目的に、2012年からスタートした「感じる公園ワークショップ」プロジェクトは、葛西臨海公園、葛西臨海水族園、夢の島熱帯植物館と実施場所の広がりを見せております。来年度は筑波にある国立科学博物館 筑波実験植物園での開催が決定しております。国立科学博物館からは特別協力名義をいただきます。

葛西臨海公園発によるプログラムの全国展開をゴールとしております。



感じる公園ワークショップ@葛西臨海公園



感じる公園ワークショップ@夢の島熱帯植物館



# 2013年度事業の特徴

## 従来型「たんけん」型プログラムのスタンダード化・進化

葛西臨海たんけん隊の「葛西臨海公園を隅々まで知ってもらおう」というコンセプトに則ったプログラムは開始以来5年を経過して定番化しております。これまで通りの江戸川総合人生大学への講義提供、東京都公園協会主催事業への出展などは継続しつつ、クリスタルビューを拠点とした活動形態については、従来のラウンジスペースが指定管理者の常設展示スペースとなったことから必ずしも必須ではなくなったという点もあり、より人通りの多い場所での展開が可能となりました。



公園協会主催「秋の公園フェスティバル」  
では園路へ出展。



江戸川総合人生大学への講義提供は定番化。

# 2013年度事業の特徴

## 防災公園連携プロジェクトの実現

江東区にある「そなエリア（東京臨海広域防災公園）」は国内外でも類例のない大規模なシミュレーションによる防災体験施設です。しかし、シミュレーション体験をしたのちに知識を身に付け、実践する場が無いことから、葛西臨海公園・海浜公園での実践プログラムとの連携を考えました。

両公園は指定管理者が異なることから通常は連携プログラムの実施は不可能でしたが、葛西臨海たんけん隊が東京都からの後援をいただいていることが後押しをして、両公園を水上バスで結ぶプログラムが実現しました。



葛西海浜公園での火起こし訓練



葛西海浜公園沖で実際に防災ボートの漕艇体験